

介護保険制度の改正に向けた国の動き

令和7年12月25日付で、国の社会保障審議会介護保険部会において、「介護保険制度の見直しに関する意見」が取りまとめられた。

介護保険制度の見直しに関する意見（令和7年12月25日）



1. これまでの経緯

令和9年の介護保険法の改正、令和9年度～令和11年度（第10期）の介護保険事業の基本指針の作成に向けて、令和6年12月以降、国の社会保障審議会介護保険部会で進められてきた議論の内容が、意見書（※）として取りまとめられた

※本意見書をもとに、介護保険制度の改正、第10期の基本指針の作成が進められる。

2. 今後のスケジュール

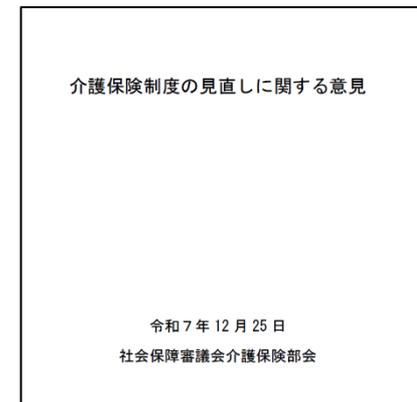
(1) 介護保険法の改正に関して

令和8年の夏までに結論を得るべく、引き続き議論を行う

(2) 第10期の介護保険事業の基本指針に関して

令和8年7月・・・基本指針（案）の提示

令和9年1月・・・基本指針（定稿）の告示



【意見書：社会保障審議会介護保険部会】

介護保険制度の見直しに関する「意見書」の内容

意見書は、以下の4つのテーマで整理されている。

人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制の構築

地域包括ケアシステムの深化

介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援

多様なニーズに対応した介護基盤の整備、制度の持続可能性の確保

1. 人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制の構築

(1) 趣旨

2040年に向けて、自治体・地域の規模によって、高齢化や人口減少のスピードには大きな差が生じ、サービス需要の変化が様々となることを見込まれる。「時間軸」・「地域軸」の両視点から、その地域の状況に応じたサービス提供体制を構築していくことが重要である。

(2) 具体的なテーマ

- ①地域の類型を踏まえたサービス提供体制・支援体制
- ②中山間・人口減少地域における柔軟な対応等
- ③大都市部・一般市等における対応

2. 地域包括ケアシステムの深化

(1) 趣旨

介護と医療の複合ニーズを抱える85歳以上人口が増加するとともに現役世代の生産年齢人口の減少も見込まれる中で、2040年に向けて地域包括ケアシステムを深化させ、医療・介護の一層の連携を図り、医療・介護・予防・住まい・生活支援等の包括的な確保を図っていく必要がある。

(2) 具体的なテーマ

- ①地域包括ケアシステムの深化に向けて
- ②医療・介護連携の推進
- ③有料老人ホームの事業運営の透明性確保、高齢者への住まい支援
- ④介護予防の推進、総合事業の在り方
- ⑤相談支援等の在り方
- ⑥認知症施策の推進等



介護保険制度の見直しに関する「意見書」の内容

意見書は、以下の4つのテーマで整理されている。

人口減少・サービス需要
の変化に応じたサービス
提供体制の構築

地域包括ケアシステムの
深化

介護人材確保と職場環境
改善に向けた生産性向上、
経営改善支援

多様なニーズに対応した
介護基盤の整備、制度の
持続可能性の確保

3. 介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援

(1) 趣旨

高齢化・人口減少のスピードが地域によって異なる中、都道府県や市町村、地域の関係者が、地域の実情も踏まえて、人材確保、生産性向上による職場環境改善、経営改善に向けた支援に係る対策を議論し、これらの対策を講じていく必要がある。

(2) 具体的なテーマ

- ①総合的な介護人材確保対策
- ②介護現場の職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援、協働化等の推進

4. 多様なニーズに対応した介護基盤の整備、制度の持続可能性の確保

(1) 趣旨

介護保険制度の持続可能性を確保するため、負担能力に応じた負担、公平性等を踏まえた給付内容の適正化等の視点に立ち、必要な見直しを検討する。

(2) 具体的なテーマ

- ①2040年を見据えた介護保険事業（支援）計画の在り方
- ②給付と負担
- ③その他の課題